

「令和3年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 4 年 4 月 14 日

事業名称		中央公民館事業費 [中央公民館事業]									
予算科目	款 10	教育費	項 4	社会教育費	目 2	公民館費	事業番号	1・5			
事業の種別		☒ 市単独 ☐ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)									
担当部署・課長名		中央公民館 課 事業 係				課長名		伊藤 智			
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。							施策番号	1-2・5-3・5-4			
【施策名】 生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 地域を越えたパートナーシップの確立							総合計画書(ページ)	35・110・113			
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	市民				→ 市の人口【4月1日】						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	地域で、学習の場に参加できることによって、生涯学習の振興を得る。				→ ①公民館主催事業参加者 ②公民館施設利用者(公民館主催事業参加者を除く) ③定期利用グループ数(R4年3月31日現在)						
2 指標の推移	③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	①利用者連絡会等開催 ②講座開催 ③イベント開催 ④施設の貸出 ⑤中央公民館だよりの発行 ⑥新堀地区会館で行う公民館事業(市民企画講座)				→ ①利用者連絡会等開催回数 ②講座開催回数(中央) ③イベント開催回数 ④施設の利用率 ⑤中央公民館だより(中公タイムス)の発行回数 ⑥講座開催回数(新堀)						
		単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
			平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標				
対象指標	①の数値	人	85,337	85,266	85,294						
成果指標	②の数値	①人 ②人 ③グループ	①6,367 ②73,214 ③176	①759 ②31,449 ③140	①746 ②42,624 ③148						
目 標	②の目標値	①人 ②人 ③グループ	①3,321 ②100,527 ③132	①6,367 ②73,214 ③176	①759 ②31,449 ③140						
		目標値設定の考え方									
		コロナ禍における利用者の活動の自粛や事業の縮小を踏まえて、前年度の数値を維持する。									
活動指標	③の数値	①回 ②人 ③回 ④% ⑤回 ⑥回	① 30 ② 60 ③ 4 ④ 63.43 ⑤ 3 ⑥ 6	① 9 ② 38 ③ 1 ④ 49.82 ⑤ 3 ⑥ 0	① 20 ② 41 ③ 1 ④ 52.21 ⑤ 1 ⑥ 3						
3 経費	事業費(実績)		円	1,517,915	923,314	740,063	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	1,499,915	905,314	723,063					
		特定財源(国・都・他)	円	18,000	18,000	17,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	2.0					
		所要人数(再任用)	人								
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	16,760,000	16,500,000					
職員人件費(再任用)		円									
事業費+人件費		円	18,137,915	17,683,314	17,240,063						
4 環境変化等	(1) 開始年度		昭和49 年度								
	(2) 環境の変化		利用者の高齢化 施設の貸出しについて、インターネット予約抽選を平成28年4月利用分から開始した。 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止 事業・講座等の定員縮小、実施時期の変更などを行いながら各種事業を実施した。 人形村のなかまたちのPR動画を作成しSNSで公開するなど、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえた事業を実施した。								

事業名称	中央公民館事業費 [中央公民館事業]			
担当部署・課長名	中央公民館	課	事業係	課長名

5 市民等の意見	この仕事に関して、令和3年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
	・市民より、トイレの洋式便器化、非接触型体温計導入について意見があった。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☒ 取り組んだ	取組手法：⑤⑥		
	☐ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和4年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
公民館まつりの実行委員会方式、市民企画委員による講座、オータムフェスティバル等参加者と作り上げるイベントなど協働の形が定着しつつある。行政主導となりすぎず、市民と行政とがお互いの役目を理解し、確認しつつ各事業を盛り上げていくことが肝要となる。 また、上記についてコロナウイルス感染症感染拡大防止を踏まえた事業とするための手法を定着させなければならない。				
7 課題	(1)令和3年度に課題とした内容（「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート 7課題（3）を転記）			
	・本庁舎会議室不足の影響により実習室等を代替えとして使用する事が増えており、グループの活動、公民館講座に支障を来すケースが増えている。社会教育施設としての運用が適切になされるよう検討が必要である。 ・その他（2）で実施し、改善しきれない部分について、さらなる取り組みが必要である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和3年度に実施したこと。			
	・会議等で公民館学習室を予約をする際、本庁舎会議室に空きがないか確認の呼びかけ、予約をして当日利用しない部署への指導を徹底し利用グループの生涯学習の場を確保することに努めた。 ・修繕が必要な箇所を把握し、計画的に修繕を行うように努めた。 ・自主活動グループ設立のための支援を積極的に行った。			
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）				
・自主活動グループの活動に繋がる公民館講座の実施を継続的に実施する必要がある。 ・施設の老朽化に伴い修繕箇所が増加していることから、大規模修繕に備えた予算の計画的な確保に努める必要がある。 ・施設予約システムの操作説明を継続的に実施する必要がある。				
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名：生涯学習の充実 共に支えあう地域社会の確立 地域を越えたパートナーシップの確立 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）			
	☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 ・予約システムのマニュアルの活用。市民とシステム操作を一緒に行うなどの説明。 ・主催講座からの新たなグループづくりを目指す。 ・計画的に修繕を実施していくとともに、大規模修繕に向けて実施計画への計上を進めていく。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
・予約システムのマニュアルをよりわかりやすいものに改良する ・新たなグループ作りを職員が積極的に支援していく。 ・修繕箇所の把握に努め、実施計画へ確実に計上していく。				